



計画の進行管理および推進・ 評価の方策



「健康さくら21」の進行管理にあたっては、毎年度各事業の進捗状況を把握し、これまでと同様にPDCAサイクルの考え方を基本として、施策や事業を捉え、翌年度の事業に確実に反映・フィードバックするよう努めていきます。さらに、目標の達成度に応じて事業の見直しを行い、優先度などを考慮した事業の展開を図っていきます。

本計画の推進にあたっては、事業を実施している関係機関や市民活動団体との連携はもとより、より効果的な市民への情報発信を行うことで、健康づくりに取り組みやすい環境を整え、市民の健康意識をさらに高めることができるよう努めていきます。さらに、健康づくり活動を展開している関係機関や市民活動団体とも連携を強化するとともに、これらの機関や団体がお互いに情報交換できるしくみづくりに努めます。このように市民協働の視点に立った健康づくりを進め、本計画の基本理念である「市民が主役～みんながつくる健やかまちづくり～」の実現に向けて取り組んでいきます。また、自分の健康は自らつくり・守るという個人の意識を一層高めるため、それを支える地域の取り組みや企業、保健医療関係機関とも連携した日常的な健康づくりが展開できるよう努めていきます。

本計画の評価にあたりましては、毎年行う年次評価に加え、目標年度である平成24年度に次期計画の策定において有効な判断指標となりうる計画全体の最終的な評価も行っています。



次期計画の策定に向けて



次期計画を策定するにあたり、平成23年度に市民の健康意識に関する調査を実施し、目標の達成状況などから、市民の健康状態がどの程度向上したのか評価していきます。

また、本計画における各種施策や事業の進捗結果を把握することで、平成16年度からスタートした計画全体の最終的な評価を行い、これを踏まえて市民の健康づくりの次のステップにつながる新たな健康増進計画を作りあげていきます。

そのためには、平成23年度から策定の準備作業に着手し、本計画の目標年度である平成24年度に次期健康増進計画を策定することとします。